

# 輝く 田底っ子

第22号

文責：校長 益永 一幸

## 田底小 スローガン

① 自分と周りの人を大切にしよう

② 自ら進んで学び、互いに高め合おう

### 実り多い1学期でした ～コロナ禍の中、安全対策・できることを工夫～

改めて1学期を振り返ってみますと、引き続きコロナ禍の中での学校運営となりました。確実なコロナ対策のもと、様々な学習や行事を実施し、地域や保護者、外部の方々ともたくさん繋がれた、とても実り多い1学期だったと思います。振り返ってみます。

〇4/17（土）・・・PTA 総会は書面決議になりましたが、低学年と高学年の分散学級懇談会ができ、担任と保護者が直接顔を合わせて面談することができました。

〇4月末・・・玄関先でしたが、家庭訪問が実施できました。

〇5/18（火）・・・児童引き渡し訓練は、運動場の引き渡しに変更して実施できました。

〇6/5（土）・・・土曜授業（防災学習）は、地域主催の防災フェアは実施できませんでしたが、防災士を招聘し、自分の命を守る行動について学ぶことができました。

〇6/25（金）・・・人権集会（子どもフォーラム）では、男女平等・男女協働について、Zoomを使って、児童、地域、保護者の意見交流ができました。

〇7/3（土）・・・土曜授業（学校保健委員会）は、メディアと上手につき合う方法について、植木北中の発表をもとに、児童、地域、保護者と一緒に考えることができました。その後の学級連絡会は、Zoomで実施しました。

〇水泳実施・・・何といたっても、子どもたちにとって楽しみなプールが実施できました。様々な制限がありましたが、子どもたちはルールを守って楽しんでいました。

ここに挙げた事以外にも、学校では毎日多くの出来事がドラマのように起きていました。その中で夢中に生きている子どもたちですが、教師も一緒に夢中になって教育活動を推進してきたつもりです。子どもたちの成長に元気をもたらしている田底小の先生方です。

保護者の皆様には、「子どもが育つ学校」として、様々な支援や協力をいただき、よい環境で充実した学校教育が行えたことに感謝しております。2学期も引き続きよろしくお願いいたします。



### 夏休みは家庭で「生きる力」を育ててください



教育基本法第10条（家庭教育）・・・「父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。」と書かれている通り、家庭教育の大切さが述べられています。39日間の長い夏休みは、どの子も同じ長さの時間です。この時間を上手に意味あるものを使うことで、これから求められている「生きる力」が子どもたちに育まれていきます。大きな事故に巻き込まれないよう、また「早寝早起きしっかり朝ごはん」の生活リズムを守って充実した生活を送ってほしいと願っています。8月30日（月）に成長した子どもたちに会えるのを楽しみにしています。